

KOSEN の窓

平成24年度、有明高専

では先進的な教育手法の開発および密接な地域貢献の一環として、有明次世代科学クラブを設立しました。この取り組みは、科学技術振興機構(国立研究開発法人)が実施する次世代科学者育成プログラムに3年間採択されています。

本クラブは、有明海周辺地域の中学生を対象とする地域密着型の科学ク

ラブです。現在、周辺地域の課題の解決を通じて、理数分野に興味を持つ中学生の才能をさらに伸ばすプログラムを実施しています。特徴的な点は、長期的に少人数の生徒(現在13人)で活動するところ。生徒は問題点の理解、現場の調査や見学、解決方法の検討、実験、考察、成果発表という一連の研究活動を体験します。なお、口頭発表ではパワーポイントやエクセル等のソフトウェアの使い方や資料

の作成、発表の手法などについても学びます。これまでに、受講した生徒の延べ人数は5年間で66人。少しずつ地域の方々や中学校の先生方に本クラブを認知していただいているところです。今年も、東京で開催される「全国受講生研究発表会」や来年3月に開催予定の「子ども研究発表会(仮)」に参加する予定です。今後

有明次世代科学クラブ ⑥

有明高専創造
工学科准教授

坪根 弘明

5年目の今年は「オリブの葉に関する研究」を行っています。荒尾市の九州荒尾オリブ村があり、国内産の安心・安全なオリブの生産を行っています。実の他に

した商品開発を検討され



平成28年度有明次世代科学クラブ入校式・始業式

有明高専